

⑮ 海外渡航承認申請はなされていますか

1 海外渡航承認申請とは

隊員が他国へ旅行等に行く場合、渡航前に承認権者（休暇許可権者）に申請をし、承認を受けなければならないという制度です。

2 海外渡航承認申請はなぜ必要なのか？

次の4つの観点から必要です。

- 1 政治的中立性の確保
- 2 渡航する隊員の安全確保
- 3 情報保全の確保
- 4 部隊等の即応態勢の維持



事故等や情報漏えいの働きかけから隊員を守る



即応態勢の維持

3 心掛けるポイントは？



- 海外渡航をする場合は、5日前までに海外渡航承認申請書を承認権者（休暇許可権者）に提出し、承認を受けること
- 海外渡航する際に、承認権者から、渡航先及び渡航目的等に応じ、指導又は注意喚起を受けること
- 保全責任者等に対し、事前に渡航する旨を伝えるとともに、帰国後に不審な動向の有無について報告
- 適切な申請が実施されていることを確認するため、管理者等による任意の一般旅券（パスポート）の定期的な確認を受けること



たとえ一度であっても海外渡航承認申請をしないと「無断渡航」になってしまいます。海外渡航承認申請手続の制度を知らないことは理由になりません。普段の会話の中で海外渡航の話が出たら、「ちゃんと申請した？」と相互に確認してください。

海外へ新婚旅行に行くときは、忘れずに申請します！まずは、プロポーズがうまくいかないとダメですけど・・・。



⑮ 海外渡航承認申請はなされていますか

4 違反事例



隊員は、趣味の観光目的で中国、インドネシア等、21か所の国及び地域への無断渡航17回及び虚偽等の不正な申請手続による渡航3回を行った。

【停職】

本事例においては、次の事項が問題です！

- 複数回の無断渡航
6回以上又は禁止国に無断渡航 ⇒ 停職
- 虚偽等の不正な申請手続による海外渡航



【その他の違反事例】

- 申請手続の制度があることを知らずに、無断渡航
- 申請手続において真実の渡航内容等を知られたくないため、虚偽の記載による申請を実施
- 申請手続が間に合わないと考え、虚偽等の記載による申請を実施

